

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
衛星・科学業務委員会(第46回)
議事概要(案)

1 日時

令和7年9月24日(水)14時00分～【Web会議形式】

2 議事

- (1) 衛星・科学業務委員会(第45回)議事概要(案)について
- (2) ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の報告書(案)について
- (3) ITU-R WP4C CG(議題1.13)(2025年7月及び8月)の報告について
- (4) ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)への日本寄与文書(案)について
- (5) ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)の外国等寄与文書の審議表(案)について
- (6) ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)の対処方針(案)について
- (7) その他

3 配付資料

資料 衛・科-46-1 衛星・科学業務委員会(第45回)議事概要(案)

資料 衛・科-46-2 ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)報告書(案)

資料 衛・科-46-3-1 ITU-R WP4C CG#3(議題1.13)(2025年7月)報告書

資料 衛・科-46-3-2 ITU-R WP4C CG#4(議題1.13)(2025年8月)報告書

資料 衛・科-46-4 ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)の日本寄与文書(案)

資料 衛・科-46-5 ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)外国等寄与文書審議表(案)

資料 衛・科-46-6 ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)対処方針(案)

参考資料1 衛星業務WG(第32回)結果報告

参考資料2 ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)の開催案内

参考資料3 ITU部会決定第6号

参考資料4 衛星・科学業務委員会 構成員名簿

参考資料5 WRC-27議題一覧

※ 下線がある配付資料は不開示情報を含むものがあるため、出席者限りの取扱。

4 出席者(敬称略、順不同)

主 査:加藤 寧

構成員:藍澤 志津、新 博行、伊東 宏之、今村 浩一郎、大嶋 由実、岡崎 彰浩、河野 宇博、佐藤 祐子、下奥 あゆ美、菅 瑞紀、高久 義行、中川 勝広、中間 弘、廣瀬 幸、山條 朋子

5 議事概要

(1) 衛星・科学業務委員会(第45回)議事概要(案)について

資料 衛・科-46-1に基づき、衛星・科学業務委員会第45回会合の議事概要(案)の確認を行った。特段意見はなく、構成員から承認を得た。

(2) ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の報告書(案)について

資料 衛・科-46-2に基づき、ITU-R SG4関連会合(2025年4-5月)の報告書(案)について検討を行った。特段意見はなく、構成員から承認を得た。

(3) ITU-R WP4C CG(議題1.13)(2025年7月及び8月)の報告について

資料 衛・科-46-3に基づき、ITU-R WP4C CG(議題1.13)(2025年7月及び8月)の報告について検討を行った。特段意見はなく、構成員から承認を得た。

(4) ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)への日本寄与文書(案)について

資料 衛・科-46-4に基づき、ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)への日本寄与文書(案)の検討を行った。次の議論の後、構成員から承認を得た。

資料 衛・科 46-4-1 寄書本文(4A/J-1)

NTTドコモ ・ p.1 Annex 7 of Document 4A/567のハイパーリンク先が
新構成員 異なる文書に飛ばされている。2か所あるため、修正いただきたい。

・ p.1 1) BSS- Region 3 Downlink parameters (victim) earth station receiveの”receive”という単語は、”receiver”か”reception”とすべき。

・ p.7 Table 3.1-2B直下のEditor’s noteの訂正が必要ではないか。

B-SAT ・ 正しいリンクを貼りなおすか、ハイパーリンクを削除する。

正源氏 ・ Annex 7 of Document 4A/567の本文がreceiveとなっているため、それに倣っている。ご指摘のとおり我々としても違和感があったので、WP4A会合の中で議論したい。現地対応したい。

・ このNoteはNGSO側がつけたものであり、本寄書で訂正提案

していない。WP4A会合で、今回の日本提案が合意できるかどうかの議論をまず行い、合意されれば、訂正ないし削除も提案することにしたい。

NTTドコモ 承知した。
新構成員

資料 衛・科 46-4-7 寄書本文(4A/J-7)

NTTドコモ p.1 4行目に、“ ~ ,one member state expressed
新構成員 concerns that~“とあるが、日本として提出する寄書であればこの文言はあえて含める必要はないのではないか。

NEC 議長報告をそのまま引用しているため、本文言が残されている。ご
渡邊氏 指摘のように、本寄書の目的は構成変更を提案することであるため、目的とは関係のない指摘が来ないように当該箇所を修正する。

資料 衛・科 46-4-8 寄書本文(4AB/J-1)

NECスパー p.9の図は出典元が転載を制限している。転載にあたり、出典元の
ステクノ ロールに則して、コピーライトの記載をお願いしたい。

ジー

下奥構成員

NTTドコモ 図や参考文献に日本語が残っているため、修正をお願いしたい。
新構成員 また、ITU-Rの文書でコピーライトが含まれる図を載せることは妥当なのか。

事務局 日本語が残されている部分については修正する。コピーライトが含まれる図を記載すること妥当性については、改めて確認する。

資料 衛・科 46-4-10 寄書本文(4C/J-2)

NTTドコモ 保護基準を超過し、隣接帯域との両立性に課題があるとする結果
新構成員 であると理解。検討の前提として、DC-MSS-IMTの宇宙局よりもJAXA様の衛星が低い高度にあり上空から電波が放射されているという条件での検討という理解でよいか。また、検討に用いたアンテナの利得等の詳細なパラメータについてご教示いただきたい。

JAXA DC-MSS-IMTの宇宙局とJAXAの衛星の位置関係については、
橋本氏 ご認識のとおり。

データ中継衛星からミッションへ送信するアンテナは無指向性で、アンテナゲイン5dBi、アンテナ温度は400ケルビン。詳細パラメータを修正したものが、改めて4C向けにリエゾン文書として送

られている。

NTTドコモ 上空方向に対しても5dBiの利得、指向性があるのか。この仮定は
新構成員 正しいのかどうか、今後の検討で確認してほしい。

JAXA アンテナが複数方向に設置しており、全方向に5dBiの利得が得ら
橋本氏 れるよう設計している。

資料 衛・科 46-4-12 寄書本文(4C/J-4)

NTTドコモ ・ p.6 11.3.3.11.X “Study X Sharing
新構成員 studies between HIBS and LDR-MSS (space-to-Earth)”の2～3行目が”This concludes that”となっているため、単語の間にスペースを入れてほしい。

- ・ AAS IMT base station の図において、AASを使用している基地局と使用していない基地局では、使用している基地局の方が干渉にセンシティブということか。

ソフトバンク ・ 修正する。

海江田氏 ・ AASを使用している方が干渉にセンシティブである。

資料 衛・科 46-4-19 寄書本文(4C/J-11)

NTTドコモ リエゾン文書を送付するのであれば、WP4C内で合意する必要があるため寄書本文を明解化すべき。以下の点について修正いただきたい。

- ・ Attachment 1 のbeam placement/management の説明では、1つのDC-MSS-IMTシステム内での話である点をハイライトするとよいのではないか。
- ・ duty cycle of each satellite では、「FDDを考慮して100%をベースラインとして評価する」等、WP4Cなりの考え方を出すと良いのではないか。
- ・ interference management では、箇条書きをやめて文書のボリュームを削減するべきではないか。
- ・ Interference from multiple DC-MSS-IMT systems では、multiple systemsからの干渉を考慮するかは引き続き議論中だが、もし考慮するならば、といった文脈にすると良いのではないか。

KDDI 承知した。WP4Cで合意が得やすい形に修正する。
棟形氏

- (5) ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)の外国等寄与文書の審議表(案)について
資料 衛・科-46-5に基づき、ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)への外国等寄与文書の審議表(案)の検討を行った。特段の意見はなく、構成員から承認を得た。
- (6) ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)の対処方針(案)について
資料 衛・科-46-6に基づき、ITU-R SG4関連会合(2025年10-11月)への対処方針(案)の検討を行った。特段の意見はなく、構成員から承認を得た。
- (7) その他
事務局から専門委員に対し、所属の変更等が生じた場合、随時事務局まで連絡するよう案内した。

以上